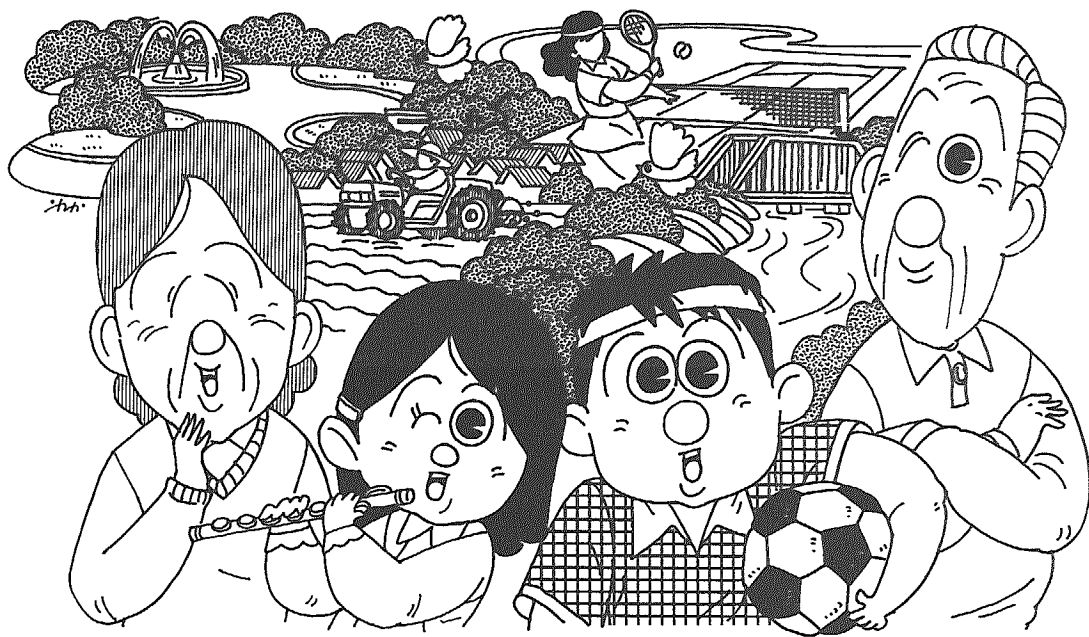


新年度の町づくり一般会計34億円の使いみち



61年度
一般会計当初予算

34億1100万円

町民1人あたりでは
15万3787円(2月末日現在)
(の人口で計算)

一般会計当初予算の推移

年度	町税	地方交付税	その他	(総額)
61	14億7613万円	8億円		34億1100万円
60	13億6702万円	7億9800万円		33億9270万円
59	12億7904万円	7億1400万円		35億2700万円
58	11億9040万円	7億8100万円		33億9370万円
57	8億200万円		28億7320万円	
56	6億6000万円		28億1660万円	

一般会計予算…その性質を比べてみると

	61年度	60年度
◆総額	34億1100万円	33億9270万円
前年度比	+0.54%	-4.12%
◆自主財源	19億2609万円	17億8326万円
歳入の中の割合	56.5%	54.2%
町民1人あたりでは	15万3787円	15万5429円
■町税	14億7613万円	13億6702万円
歳入の中の割合	43.3%	40.3%
町民1人あたりでは	6万6552円	6万2627円
■町債(借金)	1億1490万円	1億5900万円
歳入の中の割合	3.4%	4.7%
■地方交付税	8億円	7億9800万円
歳入の中の割合	23.4%	23.5%
■人件費	11億2475万円	10億66万円
歳出の中の割合	33.0%	32.4%
■公債費(借金の返済)	4億1395万円	4億555万円
歳出の中の割合	12.1%	12.0%
■普通建設事業費	7億9912万円	8億4956万円
歳出の中の割合	23.5%	25.0%

表紙の渡辺さん、田村さん、佐野さん一家のように黒埼町の新住民になられたかた、また、七区駐車場の商店街活性化、あるいは交通安全のために、皆さんの暮らしのために、スポーツ施設、道路、健康、町はたくさんのお金を使っています。町の向こう一年間のお金の使いみちが予算です。皆さんから納めていただいた税金の使いみちでもあります。新年度予算が3月定例議会で承認されましたので、紹介します。

一般会計予算とは皆さんから頂いた町税や国庫の補助金などをどう使うか年度当初にあらかじめ決めたものです。つまり、昭和61年度(4月1日から62年3月31日)の町政の基本となります。なお、年度より1830万円増です。

前年度比0.5%の累積赤字

61年度一般会計当初予算の総額は34億1100万円です。前年度より1830万円増です。度途中で新事業を始めたり、予定された町税や補助金が増減したりした場合、補正予算が組まれます。

厳しい財政事情を反映して、54%の伸びの緊縮型予算です。町民一人あたりでは15万3787円と、前年度より1042円の減です。主な事業を拾って見ますと、新規事業としては黒埼中学校の増築(1億円)、黒鳥保育園移転新築の補助(2600万円)があります。継続事業では、都市下水道費(2億7673万円)、農村総合整備事業(1億2661万円)となっています。

4万円)が大きどころです。借金の返済である公債費は4億1395万円を計上しています。(詳しくは4、5ページをご覧ください)

性質別では経常的経費(人件費や公債費など必要不可欠な経費)が71%を占め、前年より4%の増で財政が硬直化してきました。そのため普通建設事業費は10%の減(8億円)となっています。

歳入基金崩し、町債に頼れず厳しい

歳入では町税を14億7613万円と見積もりました。前年比1億円以上の増です。固定資産税では住宅、農地の宅地化等、町民税では法人は景気の停滞で伸びが期待できないものの、個人は自然増、給与所得の伸びを予想していません。

分担金及び負担金はほとんど保育料です。財源確保のため基金(町の貯金)を取り崩したのが繰入金で85%の増。中でも財政調整基金1億1千万円から7349万円をおろします。これらは町だけで賄える自主財源で、5%と過去最高です。

自主財源が大きいのは、財政力があることなのですが、半面、予算総額が伸び悩んでいるといえます。地方交付税は前年と

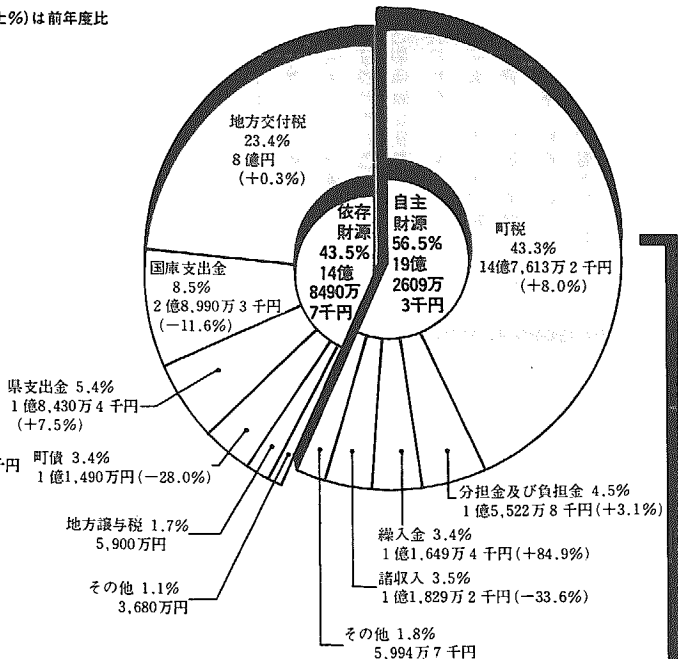
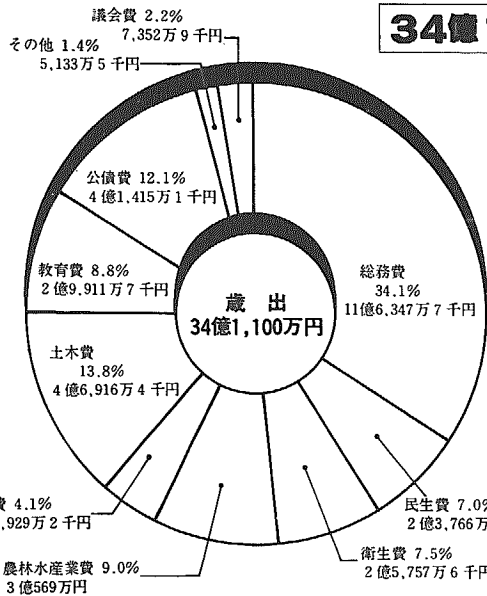
ほぼ同額(2000万円)。国庫支出金は12%の減です。これは、国の児童福祉費負担金、町道改良事業補助金の補助率が下がったためです。県支出金が増えたのは、児童福祉費負担金の県分が増えたことと、新農業構造改善事業の補助金が増えたことなどです。

町、国庫で足りない分は借金しなければなりません。これが町債で、1億1490万円です。前年度より4470万円減額しました。というのも、町債の総額が33億円近くあり、これ以上の借金はできにくいからです。

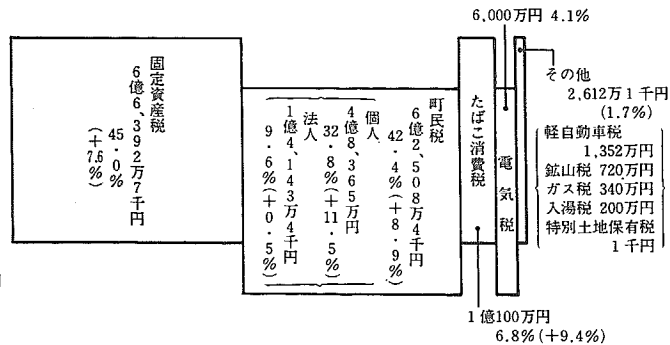
歳入は「貯金をおろした、国庫は厳しい、借金はできない」といえることが言えます。町税は伸びているのですから、「ここが我慢のしどころ」と町は考えています。

34億1100万円の内訳

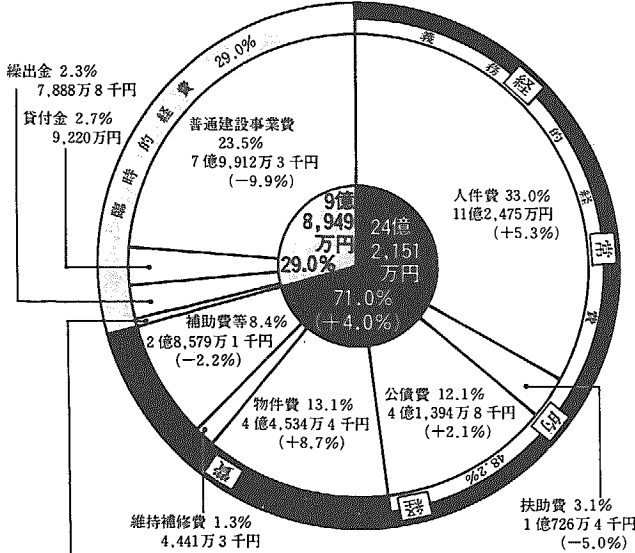
(±)は前年度比



町税の内訳 14億7,613万2千円



性質別歳出



投資及び出資金 31万円 (-)
災害復旧費 50万円 (-)
失業対策事業費 490万8千円 (0.1%)
予備費 1,356万1千円 (0.4%)